



こもれび

Nagasaki Prefecture Shimabara Hospital

2016 春号

地域に信頼され、親しまれる病院を目指して、みなさまと当院をつなぎ、森に差し込む“こもれび”のような、ひとすじの光をお届けしたいと思います。

Contents

●●●●●●●●●●●●●●●●●● ●●●●● ●●●●●	2
平成 28 年度 島原病院 新年度の取り組み 長崎県島原病院 院長 徳永 能治	3
専門医に聞く ●●●●●●●●●●●●●●●●●● ●●●●● 内田	4
連携医療機関のご紹介 かわはら内科・胃腸科医院/梅津医院	5
部門 Topics 医事統計	6
新任医師紹介	7
4月1日から敷地内禁煙を開始しました！	8

病院理念

患者さん本人の立場に立った医療

病院指針

1. 早期診断、早期治療、早期リハビリテーションを医療の基本指針とします。
2. 診療にあたっては、インフォームド・コンセントを基本にして、患者中心の医療を展開します。
3. 早期退院と医療の継続を目的に病診連携、保健福祉の連携など、地域につながるチーム医療を展開します。
4. 地域医療を支援する施設として、常に医療水準の向上に努めます。
5. 経営基盤の確立に努め、協働、相互扶助、相互啓発を職場の規範として活力ある病院づくりを進めます。

平成28年度 島原病院 新年度の取り組み



長崎県島原病院 院長 徳永 能治

当院は昭和41年、「長崎県立島原温泉病院」として開設し、平成14年に「長崎県立島原病院」に名称を改め新築し、平成21年4月、長崎県と島原半島3市を含む5市1町で構成する長崎県病院企業団に属する「長崎県島原病院」と改め、この間、地域の中核病院として日々努力を重ねてまいりました。

本年度は、昨年度の創立50周年を経て、心機一転初心に帰り、以下のような10の新年度病院目標を掲げ、職員全員が一致団結して地域医療の向上に貢献いたします

新年度病院目標

1 島原半島内の健康に関する諸機関との連携を推進します。即ち、救急車、かかりつけ医、市民からの要請をスムーズに受け入れる態勢を進めます。また回復期病院はもちろん介護・福祉施設との双方向の情報交換を密にし、相互の役割分担や医療介護連携を推進し、地域完結型医療体制を目指します。

2 これまで外来のみの診療であった泌尿器科が本年10月より常勤医1人を迎え再開いたします。安定した泌尿器科診療ができる体制づくりを進めます

3 救急医療体制の充実を図るために地域医療機関、救急隊との連携を強化し、スムーズな救急受け入れ態勢をめざします。

4 地域がん拠点病院は当病院の持つ重要な機能であり、当院でできる多くの高度医療技術の紹介に努め、また緩和医療チーム体制の充実を図り安心できるがん診療体制を推進いたします。

5 高次脳卒中センターとして、脳卒中患者の地域完結型医療体制のモデル的連携体制を推進いたします。

6 恒例のがんと脳卒中に関する市民公開講座を島原半島各地で継続実施します。また健康フェスタ(当院主催の健康に関する祭り)を実施し地域に開かれた行事を行います。

7 医療機関相互のカルテ共有システムである島原メディカルケアねっとや当院ホームページ、情報誌、ラジオ、テレビなどのいろいろなメディアを使い病院内外の情報発信を推進いたします。

8 カルテデータに基づく正確迅速な診療情報分析を行うシステムを構築し、安定した健全な病院経営を目指します。

9 院内保育所運営を開始し、働きやすい職場づくりに取り組みます

10 職員の業務、教育研修、接遇改善活動を行い地域の中核病院として質の高い人材育成、医療の提供を目指します。

地域の皆様に信頼され、親しまれる島原病院を目指して努力してまいりますので、健康に関係する多くの方々のお力添えを賜りますようお願いいたします。

長崎県島原病院 院長 徳永能治

病院理念

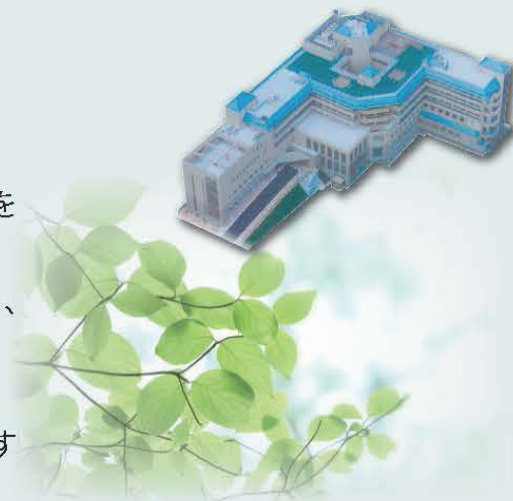
「患者さん本人の立場に立った医療」

病院指針

- 早期診断、早期治療、早期リハビリテーションを医療の基本指針とします。
- 診療にあたっては、インフォームド・コンセント（納得診療）を基本にして、患者中心の医療を展開します。
- 早期退院と医療の継続を目的に、病診連携・保健・福祉の連携など、地域につながるチーム医療を展開します。
- 地域医療を支援する施設として、常に医療水準の向上に努めます。
- 経営基盤の確立に努め、協働、相互扶助、相互啓発を職場の規範として、活力ある病院づくりを進めます。

患者さんの権利と責任

- 個人の尊厳を守られる権利があります。
- 公平で適切な医療を受ける権利があります。
- 診療内容について、正確でわかりやすい説明を求め、真実を知る権利があります。
- 十分な説明を受けた後、自らの意志で検査・治療に同意し、あるいは拒否する権利があります。
- 個人情報を守られる権利があります。
- 最善の医療を実現するために、自ら積極的に医療に参加する責任があります。





循環器内科 医長 内田 雄三

Uchida Yuuzou

経皮的下肢血管形成術について

下肢の症状には、いろいろありますが、動脈硬化によっても起こります。心臓を養う血管(冠動脈)が動脈硬化により、粥腫(プラーク)が発達すると、心臓に運ばれる血液が減ってしまい、虚血(血液が足りなくなる)という現象によって胸が痛くなる病気を狭心症や心筋梗塞と言いますが、それと同じ事が全身や下肢の血管でも起こります。歩くとふくらはぎが痛くなり、数分休むと良くなるという症状を、跛行(はこ)と言います。右に示します、「Fontaine (フォンテイン) 分類」のように進行していきます。IV度になると壊死が進行し、下肢切断や生命に関わる状態になります(下肢切断術後の死亡率は50%以上)。まさに「足は第2の心臓」なのです。

Fontaine分類

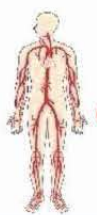
分類	症状
I度	しびれ、無症状、冷感
II度	少し歩くと足が痛む (⇒間欠性跛行)
III度	安静にしているも足が痛む (⇒安静時疼痛)
IV度	潰瘍、壊死

検査は、ABI

といって両手、両足の血圧を測る検査があります。これによって、血圧が下がっている箇所の動脈硬化を見つけるのです。その後、エコー検査や造影CT、MRI検査等で実際の血管の状態を詳しく調べます。

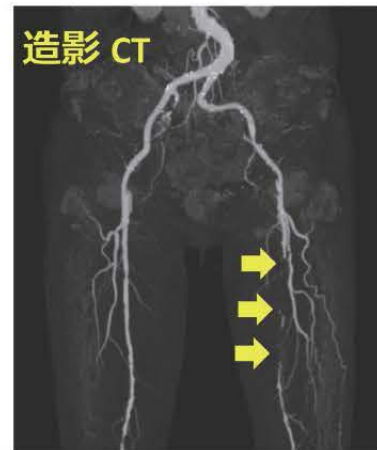
<ABI検査>

右上腕血圧 158 / 81 (123) 脈圧 77	左上腕血圧 153 / 80 (122) 脈圧 73
右足首血圧 111 / 70 (90) 脈圧 41	左足首血圧 67 / 51 (62) 脈圧 16

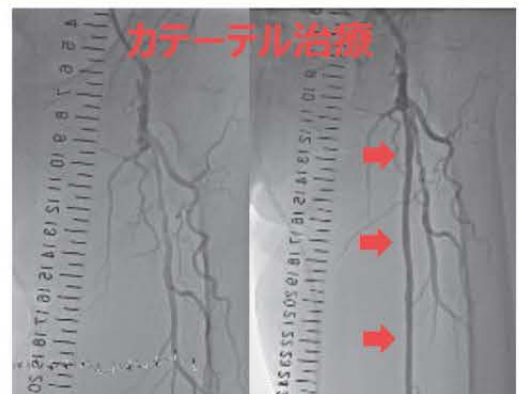


治療について、内科的治療(薬物、血管内治療)、外科的治療(バイパス術)および運動療法があります。当院では内科的治療が可能であり、血管内治療を行っています。「経皮的下肢血管形成術」といい、カテーテルを用いた治療であり、心臓の血管(冠動脈)の治療方法と同様であり、器具も発展してきました。実際の手順としては、カテーテルの先端からガイドワイヤを出して病変を通過させ、バルーンで拡張、あるいはステントを留置し血流を改善させるという流れです。

血管が広がればそれで治療は終わりではなく、動脈硬化を進行させないようにする治療として、糖尿病や高血圧、コレステロールを下げる治療、潰瘍があれば創部の外科的な処置、および運動療法を組み合わせる事が重要です。



症例：80代女性、10m歩行で間欠性跛行、左拇指の潰瘍形成。左浅大腿動脈の完全閉塞(上図黄色矢印)に対し、ステント留置(下図赤矢印)による血行再建を行い跛行は消失し、潰瘍は治癒した。



治療前

治療後

連携医療機関のご紹介

これからの医療は役割分担と連携が大切！
いつもご協力いただいている地域の医療機関をご紹介します。

かわはら内科・胃腸科医院

院長 河原 郁夫 先生
島原市坂上町7543-1 ☎0957-62-5413

「早期癌発見を目指して」

当院は平成14年8月に旧河原医院(外科)の前に、内科胃腸科として開業致しました。内科一般、特に消化器系疾患を中心に診療、検査を行っています。月曜から土曜まで毎日内視鏡検査を施行しており、年間上部(胃カメラ)は約1,500件、下部(大腸)は約600件を行い、胃がん、大腸がんの早期発見に力を注いでいます。また電子内視鏡の特殊光(NBI)も併用し、早期の表在型食道がんも発見しています。ヘリカルCTも完備しており、なるべく自院で診断ができるように努力をしていますが、充分にできないことも多々あり、島原病院の先生方のお力をお借りして安心して診療を進めさせて頂いています。

平素から内科を始め、島原病院の先生方、地域医療連携室やスタッフの方々には大変お世話になっています。ご多忙の中紹介患者様を丁寧に診察して頂き、御親切な診療情報やアドバイスなど頭が下がる思いです。特に時間外の対応など無理なお願いにも快く引き受けて下さり感謝しています。今後ともなにとぞよろしくお願い申し上げます。これからも微力ながら地域医療に貢献できるように頑張っていきたいと思っております。



梅津医院

院長 梅津 克紀 先生
雲仙市国見町土黒甲439-1 ☎0957-78-5156

“鬼手仏心”松尾繁年先生の退官に寄せて

当院は、平成6年6月6日、国見町の旧役場(現雲仙市役所国見総合支所)前に開院して22年が経ちます。当院では小手術及び高血圧症、糖尿病、心肺疾患等の治療管理とともに各種悪性腫瘍(胃・大腸・肺・乳房等)の早期発見、早期治療に貢献すべく職員一同、日々研鑽を積んでいます。開業以来、ずっと島原病院の先生方及びスタッフの皆様には昼夜を問わず対応して頂き、心より感謝申し上げます。また、毎月1回開催される島原・南高消化器・呼吸器研究会では多忙な診療の中、貴重な症例報告と検討会及び様々な疾患の講義をして頂き非常にあり難く、内科・外科・放射線科・病理の先生方の御努力に対し深く感謝致します。

さて、冒頭の四文字熟語「鬼手仏心」は外科医の理想像を表現し、多くの外科医が目標、座右の銘としている言葉・概念ですが、「鬼手仏心」を日々実践してこられた私の尊敬する松尾繁年先生が本年3月で退官されました。先生の永年の御尽力と御功績に対し、深く感謝いたしますとともに今後の益々の御活躍をお祈り申し上げます。



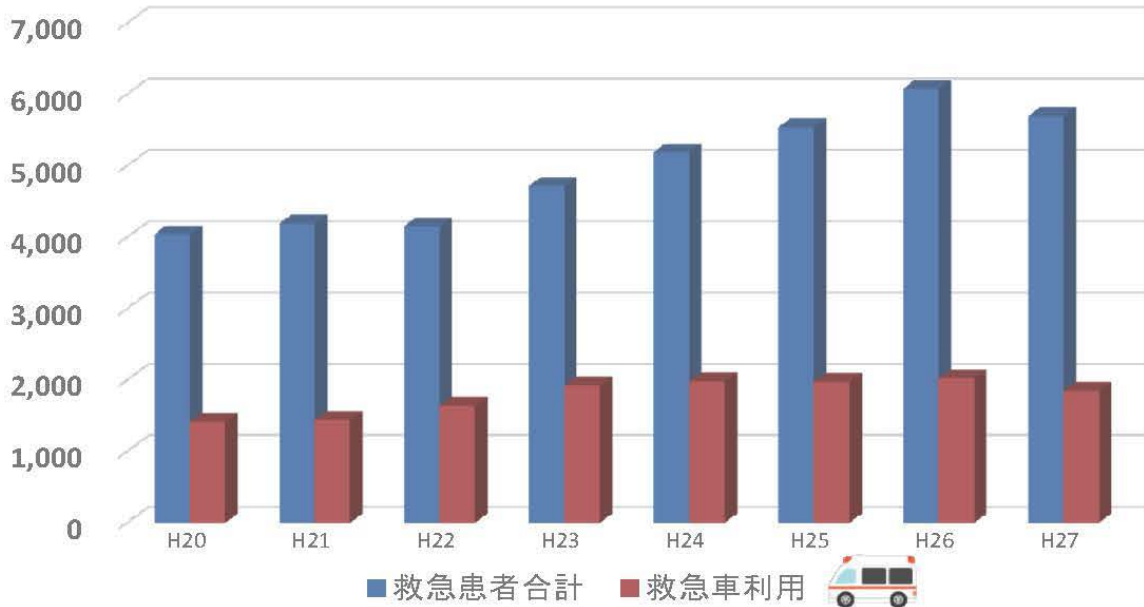
医事統計

医事係

数字で見る島原病院：救急診療（4月～3月）

救急患者状況	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
救急患者合計	4,032	4,184	4,146	4,709	5,183	5,528	6,072	5,685	
時間内(9:00～17:30)	1,551	1,567	1,558	1,830	1,968	1,919	2,113	1,996	
	入院	1,069	1,002	967	1,194	1,220	1,338	1,335	
	外来	482	565	591	636	748	775	661	
時間外	2,481	2,617	2,588	2,879	3,215	3,609	3,959	3,689	
	入院	844	826	861	1,027	976	1,038	1,068	1,033
	外来	1,637	1,791	1,727	1,852	2,239	2,571	2,891	2,656
救急車利用	1,405	1,436	1,631	1,914	1,973	1,967	2,014	1,844	
入院	1,004	938	1,040	1,229	1,167	1,187	1,190	1,107	
	外来	401	498	591	685	806	824	737	

救急患者推移



当院は救急告示の二次救急病院です。救急輪番体制を周辺病院と協力の上で行っています。

救急診療体制 内科系：奇数日(島原病院)
偶数日(柴田長庚堂病院または泉川病院)
31日は泉川病院
外科系：毎日

月曜日～金曜日：(当日午後5時～翌日午前9時)
土曜日・日曜日・祝日・年末年始：(当日午前9時～翌日午前9時)
*年末年始とは12月29日～1月3日

4月1日から敷地内禁煙を開始しました!

当院は、禁煙ポリシーを定めて敷地内禁煙を開始しました。
みなさまのご理解ご協力をお願いします。

当院の禁煙ポリシー

当院は、地域がん診療拠点病院の指定及び日本医療機能評価機構認定病院の認定を受けており、禁煙や受動喫煙防止について、さらなるがん対策や良質な医療環境の積極的な提供が求められております。

また、喫煙により発病率が上がり、病状が悪化することは周知の事実でありますので、当院をご利用いただく患者様が早期に健康回復いただけるように、医療を提供する当院職員が、積極的に健康増進を図り、患者様に良質な医療を提供できるように、さらなる禁煙・受動喫煙防止対策が必要です。このため、2016年4月から敷地内禁煙を実施します。

この取り組みには、患者様、お見舞いの方、職員のみなさんをはじめ当院をご利用いただく方々のご理解とご協力が必要となりますので、よろしくお願いします。

禁煙推進



当院では、健康増進法第25条の定めにより、受動喫煙防止のため、禁煙を推進しています。

また、4月から敷地内禁煙を実施します。
みなさまのご協力をお願いします。

長崎県島原病院

受動喫煙防止に ご協力ください



4月から敷地内禁煙を実施します。

みなさまの健康を増進するための取り組みですので、
ご協力をお願いします。

長崎県島原病院



発行／長崎県島原病院

(広報委員会事務局：地域医療支援センター)

〒855-0861 長崎県島原市下川尻町 7895 番地

TEL 0957-63-1145 (代表) 内線 116 FAX 0957-63-6544

URL <http://www.shimabarabyoin.jp/>

外来受診時間 午前8:45～午前11:00

受付時間外に受診される場合は、救急対応となります。
平成26年4月7日より小児科再開しております。
※詳しくはホームページをご覧ください。

休診日 土・日・祝日
年末年始(12月29～1月3日)